

「あいち食育いきいきプラン2020」における「食育の目標」の進捗状況等

資料2

1-1 食を通じて健康な体をつくるための目標

(状況 … ◎:達成、○:改善、△:改善見られず、-:不明)

項目	基準年	実績値				状況	目標(R2)	担当課室
		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度			
○朝食の欠食割合 小学生(5学年) 中学生(2学年) 高校生(全日制2学年) 男子大学生 30歳代男性	1.8%(H27)	3.0%	2.4%	2.9%	3.2%	△	0%	保健体育課
	4.6%(H27)	4.7%	4.6%	4.5%	5.2%	△	3%以下	"
	7.9%(H27)	8.4%	8.2%	8.6%	9.7%	△	5%以下	"
	18.7%(H27)	} 中間年度(H30)に把握		16.8%	最終年度に把握	○	15%以下	健康対策課
	9.4%(H27)	}		9.0%	○	○	5%以下	"
○朝食に野菜を食べている小中学生の割合 小学生(5学年) 中学生(2学年)	64.1%(H27)	63.3%	60.2%	60.0%	58.1%	△	80%以上	保健体育課
	51.7%(H27)	52.8%	50.2%	53.0%	50.5%	△	80%以上	"
○野菜の摂取量(成人1日あたりの摂取量)	265g(H26)	289g(H27)	224g(H28)	272g(H29)	306g	○	350g以上	健康対策課
○肥満・やせの割合 肥満:小学生(5学年) 肥満:中学生(2学年) 肥満:高校生(2学年) 肥満:20~60歳代男性 やせ:20~30歳代女性	7.2%(H26)	7.1%	8.3%	6.0%	8.8%	△	6%以下	保健体育課
	9.3%(H26)	6.2%	7.4%	7.8%	7.6%	○	7%以下	"
	8.0%(H26)	6.2%	7.5%	7.0%	7.4%	◎	8%以下	"
	24.2%(H24)	27.9%	-	-	最終年度に把握	△	22%以下	健康対策課
	21.7%(H24)	21.5%	-	-	-	○	16%以下	"
○自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践している人の割合 男性 女性	35.7%(H27)	} 中間年度(H30)に把握		27.0%	最終年度に把握	△	44%以上	健康対策課
	43.8%(H27)	}		38.1%	△	53%以上	"	
○健康な歯を持つ人の割合 むし歯のない3歳児 第一大臼歯がむし歯でない小学3年生 進行した歯周炎を有しない40歳	88.2%(H26)	88.8%(H27)	89.8%(H28)	90.5%(H29)	91.4%(H30)	○	93%以上	健康対策課
	90.8%(H25)	92.6%(H27)	-	92.8%(H29)	最終年度に把握	○	94%以上	"
	69.4%(H26)	67.4%(H27)	59.6%(H28)	54.0%(H29)	50.1%(H30)	△	79%以上	"

令和2年度の県の主な取組	
【小中学生、高校生】 ○わか家の愛であ朝ごはんのフタの開催【小】 ○学校食育推進者養成講座の開催【小・中・高】 ○リーフレット「一日のはじまりは朝ごはんから」、「再発見、朝ごはんの大切さ!」の配布【小】 ○学校給食研究大会で先進的な取組の紹介、栄養教諭等学校給食関係者の研修会での働きかけ【小・中・高】	【成人】 ○「食生活改善支援事業」において栄養バランス確保等を目的とした研修会での働きかけ、食生活改善の実践活動支援の実施
○「食生活改善支援事業」で栄養バランス確保等を目的とした研修会での働きかけ、食生活改善の実践活動支援の実施	
【小中学生、高校生】 ○保健主事、養護教諭、栄養教諭等の研修会での働きかけ	【成人】 ○「食生活改善支援事業」において栄養バランス確保等を目的とした研修会での働きかけ、食生活改善の実践活動支援の実施
○「食生活改善支援事業」において栄養バランス確保等を目的とした研修会での働きかけ、食生活改善の実践活動支援の実施	
○市町村、教育委員会等と連携して、乳歯から永久歯までの一貫したむし歯予防や口腔機能の発達を支援する環境の整備	
○市町村、歯科医師会等関係機関・団体と連携した歯周病改善のための啓発の推進	

1-2 食を通じて豊かな心を育むための目標

項目	基準年	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	状況	目標(R2)	担当課室
○家族や友人と一緒に楽しく食事をする人の割合 (1日最低1食、家族や友人と一緒に楽しく30分以上かけて食事をする人の割合)	77.4%(H27)	} 中間年度(H30)に把握		71.7%	最終年度に把握	△	80%以上	健康対策課
○農林水産業に親しむ県民の割合 農林漁業体験学習に取り組む小中学校の割合(名古屋市を除く) 農林漁業を体験する主な活動参加者数	68.8%(H27)	77.4%	77.5%	77.4%	77.8%	○	80%以上	食育消費流通課
	7.7万人(H26)	8.1万人	8.2万人	8.0万人	(7月集計予定)	○	8.4万人以上	農政課
○学校給食における地域の産物の活用 全食品数に占める県産食品数の割合 年間に使用した県産食品の種類	40.5%(H27)	38.8%	35.9%	35.3%	39.3%	△	45%以上	保健体育課
	54種類(H26)	57種類(H27)	57種類(H28)	55種類(H29)	54種類(H30)	△	60種類以上	"

令和2年度の県の主な取組	
○「食生活改善支援事業」において栄養バランス確保等を目的とした研修会での働きかけ、食生活改善の実践活動支援の実施	
○県教育委員会と連携した導入促進に向けた働きかけの実施	
○花育教室や森林・林業に関する講義の開催、漁業・水産物を紹介する活動、農業体験農園の情報発信等	
○「愛知を食べる学校給食の日」を年3回実施	
○学校給食研究大会で先進的な取組紹介	
○地域の産物を活用した特徴的な取組を市町村に資料提供	
○栄養教諭等学校給食関係者の研修会での働きかけ	
○農業水産局と連携を図り、地元農産物学校給食導入促進会議で給食調理場と意見交換	

1-3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くための目標

項目	基準年	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	状況	目標(R2)	担当課室
○むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合	41.8%(H27)	41.5%	34.9%	37.9%	45.3%	○	50%以上	食育消費流通課
○エコファーマー新規累計認定者数	5,360人(H26)	5,525人	5,538人	5,637人	5,703人	◎	5,600人以上	農業経営課

令和2年度の県の主な取組	
○各種研修会で意識向上を図るための説明の実施	
○「あいち暮らしっく」への記事掲載、各種イベント等を活用した情報発信	
○環境と安全に配慮した農業のwebサイトでエコファーマー制度の紹介や市町村別認定状況などの情報発信	

2 食育を支えるための目標

項目	基準年	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	状況	目標(R2)	担当課室
○食育推進ボランティアから食育を学んだ人数	9.1万人(H26)	10.5万人	11.3万人	10.7万人	11.1万人	◎	10万人/年間	食育消費流通課
○「いいともあいち運動」を知っている人の割合	19.6%(H27)	} 中間年度(H30)に把握		22.1%	最終年度に把握	○	25%以上	食育消費流通課

令和2年度の県の主な取組	
○「地域食育推進ボランティア研修交流会」の開催	
○ボランティア活動の橋渡し	
○活動の場の提供	
○無駄や廃棄の少ない調理講習会の開催	
○シボルクの商品への貼付やイベント等での活用	
○ネットワーキングや地域毎の交流会の開催	
○推進店やいいともあいちポスターの登録促進	
○フェイスブック等による情報発信	
○県との包括協定等に基づくエコパ・スーパーマーケット等での新商品の開発・販売	